

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

えっ!

障害者福祉 23区最低が明らかに

運動と
議会論戦で

「3年間で複数つくりたい」

「子どもが喜んで通える障害者施設をつくって」と陳情が議会に出され、共産党は厚生委員会で作るよう求め質疑をしました。その結果、区は「3年間で複数か所の施設をつくりたい」とかつてない前向きな答弁を引き出しました。

品川区の障害者福祉は施設も内容も最低

昨年12月のタウンミーティングで、知的障害の子どもさんのお母さんが「品川の障害者福祉は、質も量も最低レベル」と発言。「子どもは、情緒不安定になって通っていた作業所に一人で通えなくなり、仕事を辞めた。通所のための移動支援を利用できれば辞めなくて済んだが、品川区は移動支援を認めていないため、辞めざるをえなかった」「身障者会館に通ったが一日中ビデオを見たりカラオケをするだけだったのでまた自宅にこもるようになってしまった。他の施設を探したが、区内の作業所はいっぱい入れず。区の担当者は品川区以外の情報をもっていないというのでやむなく子どもと一緒に1年かけて探した」と、区のお粗末なサービスと対応に「質量ともに不足し、23区最低」と

発言し、入所施設、グループホーム、通所施設の整備を求め、障害者も住み続けられる品川区にしてほしい」と訴えました。

区長も障害者福祉は最低と認める

この発言に対して、区長は「おっしゃる通り。品川区の障害者福祉のレベルは率直に言って決して高くない。むしろ低い方だ」と認めたのです。

施設整備 最低レベル

共産党が実施した23区調査でも最低レベルが明確になりました。

例えば、知的障害者のグループホームは、20位。精神障害者のグループホームは、22位。就労継続支援B型は21位。



障害者団体が長年求めて

いる通所施設の就労継続支援B型は、H6年にできた西大井福祉園開設後一つも作られていません。そのため定員を大きく超えて受け入れていますが、他区の施設や東北や北海道など遠くの施設に入らざるをえず、家族と会えない状況です。それだけではなく、施設があまりにも少ないため一人ひとりの能力に応じた施設を選べないのです。

相談体制も劣悪

相談支援体制も遅れています。その人に合ったケアプランを立てて施設を選び、社会生活を送れるよう私選することが第一です。ところが、相談支援体制は区内に3か所しかなく、地域割りをしていきます。計画をつくる事業所は障害者が選ぶことができないのが法的に保障されていますが、地域割りをして選べないのは品川だけです。

近隣区をみても大田区28か所、目黒区13か所、世田谷区39か所、港区14か所と品川区がいかに低いかは歴然です。

区は不足を認め 3年間で複数か所つくりたい

区は、荏原地域はグループホームも通所施設も不足していることを認め、障害

者福祉計画に「荏原地域での事業所開設を推進」と記述しました。

先の厚生委員会で、陳情の審査をした時、区は計画に決意を表明したこと、3年間の計画期間にできれば複数か所つくりたいと答弁しました。区長自ら遅れていることを認め、改善しようという姿勢に変わったのです。

一人のお母さんの説得力のある発言と、共産党が他区を調査した結果をもとに論戦したことが大きく前進させる力になりました。

しかし、紹介したようにまだまだ改善させるところはたくさんあります。引き続き区民のみなさんとの声を受け止めて頑張ります。



第2回定例会が始まります ぜひ傍聴においでください。

石田ちひろ議員

6月28日(木)

午後12時45分

○羽田計画撤回を

○障害者のサービス改善へ

○国保料取り立て問題
○情報公開

飯沼雅子議員

6月29日(金)

午前11時

○認可保育園の質の改善を

○再開発と道路問題

○子どものゆたかな成長を育む教育を

○戦争させない自治体に

就労継続支援B型とは

一般企業への就職が困難な障がいをお持ちの方に就労機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを供与することを目的とする施設。